



虎岳幼稚園だより 2月号

2019年1月25日発行



園内は子どもたちの元気な声と笑い声に溢れ、不思議と寒さを忘れてしまいます。冬の遊びや楽しみを見つけながら、今月も元気に過ごしたいと思います。

日	曜日	給食	預保	行事	その他
1	金	○	○	節分集会	
2	土	×	×		入園準備説明会
3	日	×	×		
4	月	○	○	英語	
5	火	○	○	身体測定	
6	水	○	○		サッカー教室
7	木	○	○		
8	金	○	○		
9	土	×	○		
10	日	×	×		
11	月	×	×	建国記念の日	
12	火	○	○		
13	水	○	○		サッカー教室
14	木	○	○		
15	金	○	○		
16	土	×	×	音楽会	
17	日	×	×		
18	月	○	○	英語	
19	火	○	○		
20	水	○	○	パソコン (年長児)	サッカー教室
21	木	○	○		
22	金	○	○	パソコン (年中児)	プレスクール
23	土	×	○		
24	日	×	×		
25	月	○	○		
26	火	○	○	パソコン (年中児)	
27	水	○	○	パソコン (年長児)	
28	木	弁当	○	2月3月誕生日会 手作り弁当日	

お願い
乾燥した日が続いています。喉がカラカラになると、風邪をひきやすくなります。毎日、お茶を持って来て下さい。忘れた場合、足りなくなった場合は、園にて購入させていただきます。
ご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。



音楽会
詳細は別紙にてお知らせ致します。

～園長の独り言～
年端(トシハ)の行かぬ子,程迷わぬ.欲望も直接的である.生きる本能が食と先ず繋ぐ,目に映る(マト)の全てを目で追い届ば手で口に持って来る,届かなければ口を近づける.等しく本能への答えである.考え始める時,子(供)は 迷う,興味に応じて迷い,子も大人も迷いに境いは 無い.迷う事が自らを納得させる為の咀嚼(ソシヤク)なのである. 確実な土台を創る為なのである.グズグズ逡巡(シユン シユン)する,迷った子が "腕を組む" 智恵を絞り出しているのだ,組んだ小さな腕が "近づくな!" という.邪魔をしてはいけない "程に健気(ケナケ)な姿が 3歳のジレンマと対峙(タイシ)しているのだ.未だ幼児だ," 如何にも凜々(リリ)しいではないか? "迷いの無かった進歩 が世の何処に在(ア)ったか?", 決定の前提に一瞬の躊躇(ためら)いも本当に無かったか? 未だ届かぬ大人に憧れているのだ, "憧れる父の背" を挑んでいるのだ. "優しい母の包容が夢を見させて呉れている事も知っている." 迷うな, 男は!!" と父は言う. "迷っていい,から!" 待ってる Netz, ! と母は言う. 何(ど)ちらも偉大な教育である. 何ちらも 3歳に必要な哲学である. "迷い" という前進でも後退でも無い "0" に近い無の世界が子にも有る. "迷い" を "煩惱" と人は言う, それも 108' 人の世に在る "と言う. 私は,一日 10 余り出る事とである, 108' ころでは無い. "迷う事が果たして遠回りか? 選ぶ事が智恵なら, 迷うことも偉大な知恵, "迷って子は育つ "迷う子程, 育つのである.

～3月の予定～

- 1日(金)遠足・親子遠足(年長児)
- 4日(月)ひなまつり集会
- 18日(月)手作り弁当日
- 19日(火)修了式
- 21日(木)卒園式

